

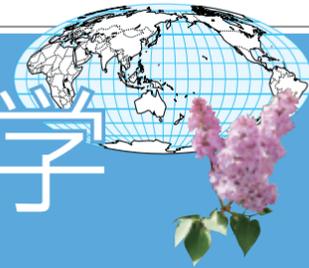
学報

学校法人 北海学園

北海商科大学

アジアの時代に、アジアを学ぶ。

Hokkai School of Commerce Newsletter



Vol.26

2019.6.20

発行:北海商科大学
編集:北海商科大学広報委員会
〒062-8607
札幌市豊平区豊平6条6丁目10番
TEL:011-841-1161(代)
FAX:011-824-0801
http://www.hokkai.ac.jp
制作:(株)ラボット

主な記事

- 4. 学部長挨拶 2面
- 5. 研究科長・学部長・センター長紹介 2面
- 6. 卒業式挙行 2面
- 7. 入試結果概要 2面
- 8. 就職状況について 3面
- 9. 優秀学生表彰と2年次所属学科ガイダンス 3面
- 10. 保護者説明会 3面
- 11. 留学生修了式 4面
- 12. 交換留学生歓迎会開催 4面
- 13. 交換留学生紹介 4面
- 14. 学生と地域町内会との交流 4面
- 15. 高大連携協定締結 5面
- 16. 公開シンポジウム開催 5面
- 17. レスブリッジ大学との提携交流 5面
- 18. 留学だより 5面
- 19. 高校生懸賞作文の募集 5面
- 20. 「研究のいま」保坂智講師 6面
- 21. 国際交流基金の大学生交流事業に参加&報告会 6面
- 22. ゼミ訪問 細野ゼミ 6面
- 23. 2019年度 前期公開講座 7面
- 24. 中国語コンテスト、韓国語能力試験とスピーチコンテスト 7面
- 25. サークル活動紹介 7面
- 26. OB・OG NOW! 7面
- 27. 新任教職員・交換教員紹介 8面
- 28. STAFF NOW! 8面
- 29. 新刊紹介 8面
- 30. 医務室から『二十代の健康』⑬ 8面
- 31. 行事予定 8面

レスブリッジ大学交換研修生が来日



6月6日北海学園理事長主催歓迎会にて(関連記事5面)。カナダ・レスブリッジ大学からの交換研修生と引率教員、ほか本学と北海学園大学の教員・協力学生・ホストファミリーの皆さん

平成31年度学式挙行

平成31(2019)年度入学式が4月3日の水曜日、ホテル札幌ガーデンパレスにおいて挙行されました。今年度の入学者は商学部230名、中国山東大学威海2名、煙台大学4名と韓国大田大学校6名交換留学生(合計12名)のあわせて242名の新入生を迎えました。森本学長の式辞に続いて入学者を代表して、小寺佑佳(北海学園札幌高校)さんによる入学者宣誓が行われ、その後研究科長、学部長、各センター長、教員の紹介が行われました。また式終了後には、商学部長伊藤昭男教授より新入生・保護者に向けて説明会を行った後、見学専用バスで、希望者向けに本学施設見学も実施いたしました。(葛西)



ホテル札幌ガーデンパレスにおいて挙行された入学式写真。下中:式辞を述べる森本正夫学長。下左:代表者による入学者宣誓。下右:新入生のみなさん。左:式後の記念撮影



★ FROM Our CAMPUS ★

今号から学報では、本学生のフレッシュな視点で捉えたキャンパス内外の写真を紹介します。大学生活の中から見えてくるユニークな「世界」を紙面で発表してみませんか。

● 撮影者 商学部1年 渡邊千春

釧路出身で、高校でも写真部に所属していました。

スキノ交差点/撮影2019年5月17日
釧路から札幌に来て二ヶ月、いちばん札幌らしいと思う場所です。大学の友人とご飯を食べに行く途中で、よく通ります。



英会話のクラスの先生と仲間たち
週3回の英会話の授業は、楽しい先生と一緒に、笑い声の絶えない和やかなクラスで英語を学んでいます。

豊平川/撮影5月20日
陸上部の練習風景。出身地の釧路でも河川敷で部活の練習をしている人がいたことを思い出しながら、自然の風景と都会の建物を組み合わせた写真を撮りました



学 平成31年度 部長挨拶



商学部長 伊藤 昭男

「変革力を生み出す基盤形成を目指して」

日本より先に成熟社会に到達した先進ヨーロッパ諸国では経済成長こそ低いものの“人にやさしい・質を重視した社会”への転換を幾多の困難と時間を掛けて実現させています。伝統と最新とを結合した、新たな公共の創造に基づく“ハイブリッド”社会の形成が推進されています。一方、失われた30年を経験した日本はいまだに量的思想・お上依存から脱却できず足踏み状態のように見受けられます。例えば、組織・個人の連携・協働の工夫は社会の質を向上させるパワーとなり得ますが日本のレベルは先の諸国との比較において弱いようです。いつの時代にも人間性を有した高度な知識基盤こそが、社会を切り拓く力だと思えます。将来を担う若い皆さんは、未来を開拓する使命と責務を有しています。それゆえ自己を切磋琢磨し、時代の価値に適応した社会変革を担って貰いたいと思えます。大学・大学院は思想形成と知識基盤を培う絶好の場所です。充実した大学生活を通じて広い視野と深い思考力を有した人材形成を目指されることを切に期待しています。

研 究科長・学部長・ センター長紹介

- 大学院研究科長 阿部 秀明 教授
- 商学部長 伊藤 昭男 教授
- 教務センター長 佐藤 博樹 教授
- 学術発展センター長 田辺 隆司 教授
- 入試・広報センター長 堂徳 将人 教授
- キャリア支援センター長 村松 祐二 教授
- 学生支援センター長 加藤 由紀子 教授
- 国際交流センター長 水野 俊平 教授

卒 平成30年度 業証書・学位記 授与式挙行

平成30(2018)年度卒業証書・学位記授与式が3月18日(月)、例年同様、中島公園に隣接する札幌パークホテルにて挙行されました。

商学部卒業生159名(うち商学科98名、観光産業学科61名)に卒業証書・学位記が森本学長より授与されました。その後教育職員免許状の授与(代表小笠原めるもさん)、学業成績優秀学生の各学科1名(商学科 齋藤寛剛さん、観光産業学科 町田優実さん)に表彰状・記念品が授与されました。

また、在学生を代表して商学部2年の太田愛美さんが卒業生へ祝辞を送り、卒業生を代表して商学科の小山内直樹さんが答辞を述べました。卒業生・修了生はご来賓や保護者、教職員の



卒業証書・学位記授与式



多数に見送られながら、春浅い学窓を巣立ちました。

卒業式後は同ホテル内で「卒業生を送る会」が催され、本学加藤由紀子学生支援センター長より、在学中顕著な活動を行った個人と団体の表彰を行い、その後、本学同窓副会長高橋好光氏、森本正夫学長が祝辞を述べました。教職員や同期生の皆さんたちが大学生活を振り返りながら、学生最後の時間を有意義に過ごしました。(葛西)



卒業生集合写真



卒業生を送る会

入 2019年 試結果概要

18歳人口の減少は、昨年度から再び顕在化して、今後5年間(2024年度入試)では、全国と全道ともに約10%減と大幅なものとなります。また、この間は本学への入学者の多くを占める道央圏においても18歳人口の減少が顕在化すると予想されています。さらに、道内外の大学の受験者獲得競争が激化するなど、入試をめぐる環境は一層厳しくなっています。

一方、「アジアの時代にアジアを学ぶ」を掲げる本学では、外国人観光客の大幅な増加が続く中、国際ビジネスや国際観光が学べる大学として、注目を集める場面も見受けられました。

こうした状況にあって、本学では一般入試、センター試験利用入試、推薦入試を合わせた志願者449名(前年473名)となり、入学定員180名に対する倍率は2.5倍(前年2.6倍)となり、前年に続き多くの出願を得ることとなりました。

一般入試では、3教科3科目(2月8日)入試と2教科2科目(2月13日)入試を合わせて132名の出願となり、前年の168名から減少しましたが、平均得点率(約60%)、実質競争倍率(1.1倍)は、いずれも例年通りとなりました。

センター試験利用入試のうち、3教科3科目(Ⅰ期)入試では178名(前年189名)が、2教科2科目(Ⅱ期)入試では22名(前年9名)が出願し、合計では200名と過去最も多い出願となりました。

推薦入試では、指定校推薦入試において52名、公募推薦入試(Ⅰ期・Ⅱ期)において29名、併設校推薦入試において38名、合計119名(前年107名)の出願となり、これも過去最多とな

りました。

本年度入試結果の大きな特色には、センター試験利用入試の合格者の入学手続率が32%へと上昇し、実際に入学した学生が55名と過去最多となったことがあります。

その結果、入学者は230名となり想定を大きく上回りましたが、入学生に実施したアンケートでは、本学への入学を決めた理由では「商学が学べる」「北海学園の系列校」などが、学生生活の期待では「外国語の授業」「資格取得」などが多く見られ、入学者が本学の教学ポリシーに共感し、高い学修への意欲を有することが窺われます。(堂徳)



2019年度入学式受付風景

就職状況について

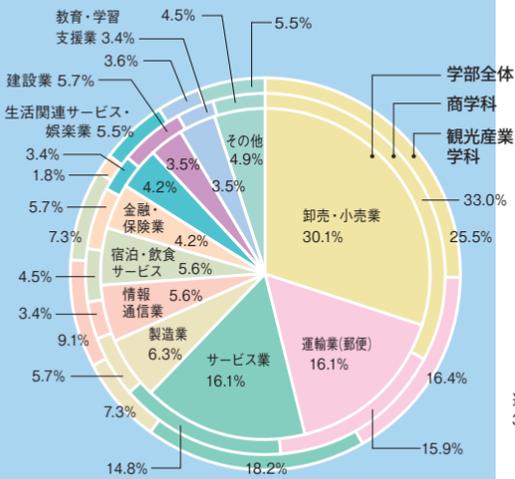
昨年同様、2019年3月卒業者の就職状況は好調な結果となりました。企業側には新卒者に対する積極的な採用意欲が引き続きみられます。産業間では強弱があるものの、新卒求人数全体が伸びる一方で、就職希望者数の伸びが下回っている結果、全体では労働力の需給関係が逼迫しています。卒業者の最終決定状況は、商学部全体で97.9%の就職決定率となりました。学科別では商学科97.8%、観光産業学科98.2%となっています。就職先はサービス業中心に広範囲に渡ります。具体的には卸売・小売が多く、次に運輸(郵便を含む)とサービスが続ぎ、これに製造、情報通信、宿泊・飲料サービス、金融・保険、生活関連サービス・娯楽が加わります。本社所在地では3分の2が石狩管内を中心とする道内で、東京都が3割弱となっています。

2020年3月卒業者の採用活動スケジュールは、3年生の2019年3月1日に会社説明会開始、4年生の6月1日に選考開始、同10月1日に正式内定という日程(経団連と大学等の申し合せ)で基本実施されます。しかし6月以前に実質的選考をおこなう企業も多く、採用活動を念頭にインターンシップを実施する企業が増え、採用活動の前倒しが年々進んでいます。2021年3月卒業の現2年生については「申し合せ」が解除される見通しで、通年採用の可能性も出てきましたが、詳細は現在のところ不明です。(村松)

2019年3月卒/業種別就職状況

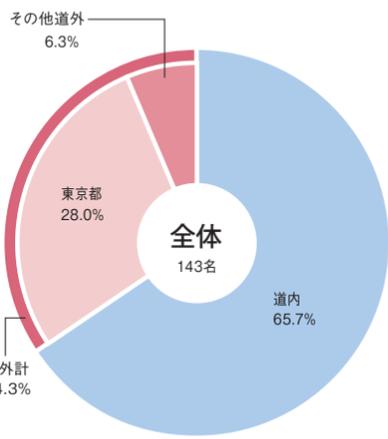
(割合は四捨五入による)

円グラフ内側から、学部全体、商学科、観光産業学科



2019年3月卒/本社所在地別就職状況

(割合は四捨五入による)



3月に行われた合同企業説明会(北海学園大学との合同開催)

成績優秀学生表彰と2年次所属学科ガイダンスについて



3月22日の新2年次、3年次ガイダンスにおいて、新2年次と新3年次の学生を対象として、北海商科大学教育振興資金による学業成績優秀学生・課外活動優秀学生表彰を実施しました。本学は教育振興資金による学生の海外留学及び対外活動表彰を以前より行ってきましたが、平成25(2013)年度からは学業成績及び課外活動優秀学生にも表彰対象を拡大しました。平成31(2019)年度は、学業成績優秀学生として通算GPA(Grade Point Average)ポイントに基づく成績評価の第1位〜3位の新2年生3名、新3年生3名を、3月22日のガイダンス時に表彰するとともに奨励金を授与しました。今回の表彰等を契機として今後もモチベーションを一段と高め、学業成績の一層の向上や対外活動で多くの成果をあげられるよう期待しています。

また、新2年次ガイダンスにおいて、所属学科決定までのスケジュール等を確認しました。5月22日に第1回所属学科選考ガイダンスを実施し、両学科教育委員会委員長による学科選考に向けた学科概要説明の後、「ゼミナール見学希望届」を受け付けました。6月4日〜6月13日にかけて両学科のゼミナールを見学して志望学科選択の参考にしてもらい、6月26日の第2回ガイダンス後、「志望学科届」を受け付け選考作業に入ります。所属学科の発表は9月12日を予定しています。(佐藤 博)

保護者説明会を開催

2019年度の保護者向け説明会が、3年次5月25日(土)、2年次6月1日(土)に、本学を会場に開催されました。3年次向けは、就職活動に関わるキャリア支援中心に、また2年次向けは、入試・広報、教務、国際交流、学生支援、キャリア支援の、5センターの学生向け業務等を広く理解する目的で、それぞれ毎年度実施されているものです。

3年次向け説明会では、キャリア支援センターより2018年度就職状況および2019年度の雇用市場環境、就活動向、就職支援体制等について、説明がなされました。その後は外部講師による講演「就職活動への保護者の関わり方」があり、講演終了後は、保護者からの質疑応答と、さらに個別相談の場が設定されました。

2年次向け説明会では、冒頭に学部長より本学を取り巻く現況や今後の取り組み等について説明があり、それに続いて各センターから部局ごとの事業説明や成果報告などの解説がされました。多くの保護者を迎え有意義な2日間となりました。(村松)



5月25日に行われた3年次保護者説明会(写真上・下左は全体説明、下右は個別相談会)



平成30年度 学業成績優秀学生表彰者(敬称略)	
2年	佐藤 綾花
2年	田村 日菜子
2年	佐々木 七菜
3年	越沼 玲
3年	伊東 さくら
3年	奥田 彩加



写真上左: 3年次ガイダンスでの観光産業学科ゼミ紹介 下: 2年次ガイダンス



1月に帰国した派遣交換留学生、中韓からの交換留学生、教員と記念の集合写真



交換留学生歓迎会 開催

4月12日(土)午前11時半から、本学地下1階の自由学習コーナーにて、2019年度留学生交流会が実施されました。協定校である煙台大学・大田大学校からの交換教授の先生、今年1年間本学に留学する協定校からの留学生(山東大学2名・煙台大学4名・大田大学校6名)と教職員、大学生、日本人学生など約100人が参加する盛会になりました。交流会では伊藤商学部長、西川前大学院研究科長の挨拶に続き、国際交流センターの教員紹介、協定校からの交換教授である于传鋒先生(煙台大学)、崔炳文先生(大田大学校)の紹介、留学生・大学院生の紹介、中国人留学生による歌の披露、記念写真の撮影などが行われ、軽食を摂りながら楽しい交流のひと時をもつことができました。交流会が終わっても、会場ではいつまでも語らいの場が続きました。(水野)



交換留学生歓迎会と記念集合写真

留 学生修了式



写真左：森本正夫学長から修了証書を受取る交換留学生
右：留学成果を発表する大田大学校からの留学生

2月20日(木)午前11時から、本学1号館8階の開発政策研究所にて平成30(2018)年度交換留学生の修了式が行われ、森本正夫理事長・学長から中国・山東大学威海校からの留学生7名、中国・煙台大学からの交換留学生4名、韓国・大田大学校からの交換留学生4名に修了証書が授与されました。これに先立ち、10時30分から405号教室で韓国・中国の留学生により、留学成果発表会が行われ、教職員や日本人学生の前で1年間の留学の成果と思い出を発表しました。写真撮影の後、12時からは2階の自由学習コーナーにて軽食を摂りながら、留学生と日本人学生との交流会が行われました。13時半からは再び405号室に会場を移し、本学から中国・韓国へ派遣され、6か月の留学を終えて1月に帰国した本学の1年生による留学報告会が行われ、中国と韓国での留学の成果と思い出を発表しました。(水野)

● 交換留学生紹介 ●

今年度の交換留学生です。両大学から抱負を語ってもらいました。

中国 山東大学威海校から 中国 煙台大学から



山東大学威海校左から、
程 震CHENG ZHENさん
侯 倩倩HOU QIANQIANさん
煙台大学左から、
羅 春玉LUO CHUNYUさん
朴 宇莹PIAO YUYINGさん
劉 子昕LIU ZIXINさん
王 嘉成WANG JIACHENGさん

韓国 大田大学校から



大田大学校左から、
李 東俊LEE DONGJUNさん
車 蕙禎CHA HYEJUNGさん
韓 承賢HAN SEUNG HYEONさん
金 垠志KIM EUNJIさん
趙 幸撞CHO JAEGEUNさん
李 ハンウルLEE HANYOOLさん

山東大学威海校 ● 程 震さん

私は交換留学生として山東大学威海校から派遣されてきた日本語学科3年生程震です。留学を通して日本語の勉強や日本文化、生活などを多く経験したかったので、留学の申し込みをしました。

趣味はバスケットをやることです。みんなと友達になったことを嬉しく思っています。

煙台大学 ● 王 嘉成さん

中国山東省煙台市煙台大学から来ました日本語学科3年生王嘉成です。日本には初めて来ましたが、中国とは全く違う生活を送り、いろんなことを体験しながら、日本語もだんだん上手になりました。とても良かったと思います。これからもっと日本語を勉強して自ら積極的に日本の文化やその地域生活を体験したいと思っています。どうぞよろしくお祈いします。

大田大学校 ● 李 東俊さん

韓国大田大学校から来ました人文芸術学部日本語日文学科3年生の李東俊です。みんな日本での留学生生活を夢見ながら一生懸命に挑戦して、北海商科大学に留学することになりました。各自留学生生活を過ごす上で目指している目標は違いますが、今北海商科大学で学ぶことを経験することは将来何事にも変えられない体験だと思います。最後まで、北海商科大学の交換留学生として頑張りたいと思います。

学 生たちと町内会の 交流始まる

2019年度に入り、北海商科大学の学生とキャンパスのある豊平の住民の皆さんとの交流が始まりました。

4月15日には、隣接する旭水町内会の方々が大切に守ってきた「豊平川神社」の春の例大祭に、本学の留学生と教員が参加しました。

豊平川の氾濫防止と事業の安泰を祈願して、1887(明治20)年に建てられた「豊平川神社」は、現在では町内会の活動拠点である旭水会館にまつられており、町内会で大切に守ってきた歴史ある神社です。例大祭は特に来札したばかりの留学生たちにとって、初めての日本の年中行事の体験であり、また旭水町内会の皆さんとの交流は、これからの留学

生生活にとってとても有意義な時間になったと思います。

5月19日には、キャンパス周辺の花植えを、豊平町内の方々と一緒に行ないました。当日は、豊平町内会の皆さんのご指導のもと、「環境ボランティアサークル」の学生と本学留学生、キャンパスの隣にある札幌留学生交流センターの留学生達と、総勢22名を越える国際チームで10箇所近くある街路樹の根元のスペースに、マリーゴールドなどの苗を植えました。(加藤)



写真右上：豊平川神社例大祭に参加した交換留学生。他写真は豊平地区町内会連合会の花苗植栽活動に参加した環境ボランティアサークルと交換留学生や札幌留学生交流センターのみなさん

11
12

13

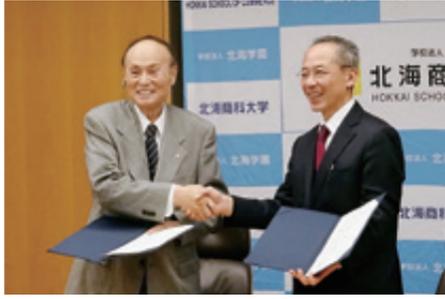
14

北海道札幌国際情報高等学校と 高大連携協定を締結

本学与北海道札幌国際情報高等学校は、昨年末(2018年12月25日)に2年間にわたる協議を経て、高大連携協定を締結いたしました。

本学では、「アジアの時代にアジアを学ぶ」を教育目標に据え、アドミッションポリシーに「国際交流」をキーワードに掲げ、中国や韓国の海外協定校の大学に海外語学留学プログラムをはじめとする特色ある教育活動を進めてきました。一方、北海道札幌国際情報高等学校では、「世界の人々から尊敬されるグローバルシチズンとしての日本人の育成」を学校教育目標に掲げ、社会の変化に応じた特色ある教育活動を推進してきました。

この度は、昨今のインバウンドの顕在化、我が国および北海道における観光の基幹産業化への動向などを踏まえ、本学では異文化交流(語学を含む)を基礎とした観光産業学科を中心として、札幌国際情報高等学校ではグローバルビジネス学科を中心として、相互に協議を重ねながら連携事業に取り組み、両校の教育・学習効果の向上を図ります。今後は、北海道の地域と社会に優れた人材の育成を目指し、幅広い学びと豊かな交流を行って参ります。(堂徳)



本学森本正夫学長(左)と榎本敏生北海道札幌国際情報高等学校校長・当時(右)

公開シンポジウム開催 「社会に開かれた教育課程を創る」

2019年2月23日、「北海道の価値創造力の強化に向けた人材育成の体制整備に関する研究グループ」(北海学園学術研究助成事業対象研究(平成29~30年度))が、その研究の取組みから、本学において公開シンポジウムを開催しました。

本研究グループ(研究代表:堂徳将人教授・写真中央 研究分担者:阿部秀明教授、柳川博教授、相浦宣徳教授)は、北海道の未来を豊かなものとする観点から、本道の特異性や広域性を踏まえ、各地域の経済・物流・教育資源などの現状と課題などを把握して、各高等学校等において推進される「社会に開かれた教育課程づくり」を支援する大学の在り方についての研究を進めて参りました。

具体的には、新学習指導要領改訂の根幹を成す「社会に開かれた教育課程づくり」を推進する各高等学校等の現状と課題をアンケート調査により分析する一方、北海道における「地域経済」の政策実験、「物流」の課題解決策、「市町村のデータベース」の構築策などの研究を通して、大学の地域貢献及び地域創生への関わりを明確化し、その実践化について考察しました。

シンポジウムでは研究成果を広く学校や社会に還元することを目的として、北海道の未来を拓く人材育成の取組みについて、縦の連携(大学と小中高等学校)及び横の連携(学校と経済界・業界・市町村等)の推進策を柱として提言を行いました。多くの高等学校等教育関係の皆様のご参加を得て、盛会のうちに終了しました。(堂徳)



レスブリッジ大学との 提携交流



6月3日、カナダ・レスブリッジ大学から10名の研修生がドーン・マクブライド先生、イマル・バケロ先生の引率で来訪し、北海学園大学と合同で受け入れを行いました。研修生は日本の家庭にホームステイをしながら、本学の校舎で日本語研修、日本文化研修を受講するほか、茶道、折り紙などを体験し、よさこいソーラン、登別・函館への研修旅行、札幌市民防災センター、北海道開拓の村、北海道博物館の見学などに参加します。6月6日には森本正夫理事長宅で歓迎会が行われましたが、その際にレスブリッジ大学の皆さんに研修の感想を伺ってみました。

引率のイマル・バケロ先生は「大学が便利な場所に位置しており、交通システムがとても便利。地下鉄がとても効率的です」「札幌は2度目ですが、また訪れたいです」、研修生のミッシェル・ブライトさんは「札幌を本当に楽しんでいま

す!自然は美しく、過ごしやすいです。食べ物はおいしくて人々は親切です」と札幌の印象を語ってくれました。研修生のマケナ・シゲミさんは札幌の食べ物について、「非常においしいです(特にシーフード)。納豆以外のすべての和食を楽しんでいますよ。私は味噌ラーメンも大好きです。ホームステイ家庭の食物もとてもおいしいです」。ちなみに研修生の皆さんが特においしかったと口をそろえるのは味噌ラーメン。他にはうどん、寿司、天ぷら、鯛焼き、餅などがおいしかったそうです。マケナ・シゲミさんは「ホームステイ自体が大きな学習経験であると言えるくらい、日本の文化はカナダと異なります。ホームステイ・ファミリーはとても歓迎してくれて、信じられないくらい親切」とも。また、「今回、一緒に日本に来た友人と、ここで私が作った新しい友人は、今回の体験のとても大切な部分です!」(ミッシェル・ブライ

トさん)、「道で写真を撮る一緒に撮りたいという人に声をかけられました。うれしかった」(キャメロン・スプリングさん)、「ホストファミリーの皆さんと小樽に行って、一緒にボートに乗って、カモメにエサを食べさせました」(ミケイラ・コザックさん)という特別な体験も。講義については、「プログラムは素晴らしかったです、特に言語の講義は知的な刺激になりました」(ベイ・ザッカーリーさん)、「アイヌ民族や日本文化について詳しく知る機会を得ました」(ペイリー・ラマルシェさん)という声がありました。

ジェシー・ホルベインさんは「北海道は、素晴らしかったです。食物はおいしく、人々は非常に親切です。札幌雪まつりを見るために冬にまた来たいです」と語ってくれました。(水野)



写真左から、歓迎昼食会で本学協力学生と、書道体験での記念写真、本学保坂智講師による日本語研修の様子

留学だより

●商学科3年 川原 凌



今年の3月から始まった煙台での留学生活も約二ヶ月が経ちました。煙台での生活は今回で二度目なので、授業の内容や日々の生活ではより高いレベルを求められ、今までの勉強の成果を出す場面が増えたり新しい発見があったりと、たいへん充実した生活を送っています。

前回の留学では、全てのことが初めてで、あっという間に時間が過ぎ、終わってしまいました。その反省も踏まえ、現在は多くの留学生や現地の人たちと交流を持ったり、休日には博物館等に行き、歴史や文化も学んでいるので、普段中国の人とはどのような言葉や表現法を使っているか、何が流行しているかなども知ることができ、中国語の上達のみならず、よりネイティブに近い会話を練習することができています。

また、色々な人と交流して日本の文化や歴史に対し興味を抱いている人が非常に多いことがわかりました。残りの留学期間を通して日本のことを一つでも多く広めたいと思います。



写真・煙台大学の東門の前で左端が川原君

●観光産業学科4年 鎌田 莉乃



2月26日から約1年間の留学生活が始まり、早くも3か月が経ちました。今回の留学は3年前とは違い、韓国学生と一緒に大学の授業を受けるので以前とは違う楽しさや面白さ、また、大変さなどがあります。

今回の留学でも韓国学生のバディーがついてくれているのですが、今回は3週間に1度バディーが変わるのでたくさんの韓国学生と交流することができています。さらに3年前に比べると私たちの韓国語レベルも上がっているので、自由に意思疎通することができ以前よりも行動の範囲と交流の範囲が広がりました。

3月中旬には日語日文学科のMTがありました。韓国に来て間もない頃だったので、まだ韓国学生とも、他の地域から来た日本人学生とも打ち解けていませんでしたが、この機会を通じて、親しくなることができました。

今後、体育祭、学校祭、外国人体育大会や学術祭など様々なイベントがあります。イベントを楽しみながら、日常生活や学校生活を充実したものになりたいと思います。



写真・留学生や韓国学生との友人たちと鎌田さん(前列右端)



昨年度の表彰式の様子



高校生 懸賞作文の募集

(主催:北海道商科大学 後援:北海道新聞社)

北海道商科大学では、平成24(2012)年から北海道の高校生を対象とした懸賞作文の募集をしています。この懸賞作文は高校生の素直で鋭い観察眼で現在の市場、マーケティングに関心を持って頂くことを趣旨としています。作文のテーマは、①日本と世界の人に広く薦めたい私のまちの観光スポット ②日本と世界の人に広く薦めたい私のまちのグルメ ③日本と世界の人に広く薦めたい私のまちのお土産です。これらの中からの一つのテーマを選択していただきます。締切は2019年9月20日(金)です。応募要項、パンフレット等は、6月下旬に道内の各高校に郵送するとともに、北海道商科大学のホームページでもお知らせします。

入賞者には森本学長より、表彰状と副賞(図書券)が手渡され、審査講評と懇親会を開催する予定です。

ご兄弟、高校の後輩、お知り合いの高校生に是非ご案内ください。(橋元)

東アジア社会の共生と発展

令和元(2019)年度 前期公開講座

- 日時：令和元年5月25日・6月1日・22日・7月6日・13日・20日 (全6回、10：30～12：30)
- 場所：北海商科大学1号館8階会議場
- 参加対象：一般市民（含む学生）



5月25日に行われた第1回公開講座

令和元(2019)年度前期公開講座は、「東アジア社会の共生と発展」をテーマとして、5月25日(土)から7月20日(土)まで6回にわたって開催します。その講師陣は、中国国务院直属の中国社会科学院の副所長および研究員、本学の協定校である韓国・大田大学校からの交換教授、商学・観光・哲学の専門家の方々、さらに本学の教授です。本講座の趣旨は、本学の教育目標が北東アジアの情勢に留意して「アジアの時代にアジアを学ぶ」ことに置かれ、現代社会の急速なグローバル化に対応した教育研究・研究交流が実践されていることを、広く知っていただくことにあります。今後とも本学は社会の情勢を常に把握し、地域の皆様のご期待に応えられる講座を開催していきます。なお本講座は、生涯学習の場である「道民カレッジ」の連携講座(教養コース)としても開講しております。また、申し込みは不要で、かつ受講料は無料ですので、どうぞお気軽にご参加くださいますようお願い申し上げます。(田辺)

第1回 5/25 (土)	<ul style="list-style-type: none"> ●「反語」と「イロニー」の間—林達夫の「反語的精神」を読む—北海道大学文学部准教授 村松 正隆 ●東北道の中での外国—ニセコをはじめとする道内インバウンド情勢—株式会社北海道藍天旅遊社 石川 めぐみ
第2回 6/1 (土)	<ul style="list-style-type: none"> ●4次産業革命と韓国の大学教育 大田大学校教授・本学交換教授 崔 炳文 ●日本における『韓流』の系譜について 北海商科大学教授 水野 俊平
第3回 6/22 (土)	<ul style="list-style-type: none"> ●改革開放40年の中国の経済と社会 北海商科大学教授 石原 享一 ●日本自然災害のリスク管理の方式と実践 中国社会科学院世界経済政治研究所研究員 王 徳迅
第4回 7/6 (土)	<ul style="list-style-type: none"> ●伝統と革新—内藤湖南、イザベラ・バード、そして「令和」— 北海商科大学教授 西川 博史 コメンテーター/北海商科大学准教授 佐藤 千歳
第5回 7/13 (土)	<ul style="list-style-type: none"> ●北海道の経済と生活を支える物流—北海道物流の課題と影響— 北海商科大学教授 相浦 宣徳
第6回 7/20 (土)	<ul style="list-style-type: none"> ●中国の対外開放と東アジア経済における貿易協力体制 中国社会科学院世界経済政治研究所副所長 宋 泓 コメンテーター/北海商科大学教授 伊藤 昭男



中国語コンテスト

「漢語橋」世界大学生中国語コンテスト予選大会で金・銀・銅入賞

2019年度の「漢語橋」世界大学生中国語コンテストは、これまでの実施方式が変更され、全日本中国語スピーチコンテストと合同で実施されました。この方式では、日本華人教授会議が日本の主催団体となり、日本全国を5つの予選区分けで行うこととなります。北日本区(北海道、青森、秋田、岩手)から2名、東北区から2名、東日本区から6名、西日本区から5名、南日本区3名、計18名の各区の優勝者が東京での決勝大会に出場し、スピーチや中国文化芸能などを競うこととなります。総合成績上位3名は、日本の代表として、第18回「漢語橋」世界大学生中国語コンテスト中国決勝大会に出場する資格を獲得します。また、特別優秀賞、一等賞、二等賞の受賞者に対し、中国留学への中国政府奨学金、あるいは孔子学院奨学金が授与されます。

北日本区予選会は、5月25日に札幌孔子学院で実施され、本学からは、3年生の石井利磨君、佐藤友里奈さん、南岡静香さん、2年生の佐々木七菜さん、北原幸枝さん、秋山康太郎君、印牧明日香さんの計7名が出場しました。印牧明日香さんが1位の最優秀賞、南岡静香さんが2位、佐藤友里奈さんが3位になりました。中国文化技能のコーナーでは、本学の参加者は、中国語の歌や漢詩の朗読などを披露しました。特に南岡静香さんの笛の吹奏は素晴らしく、会場の喝采を博しました。印牧さん、南岡さんは6月22日、桜美林大学(東京)で行われる決勝大会に出場します。(蘇)



「漢語橋」北日本区予選会での本学入賞学生(左から南岡静香さん、印牧明日香さん、佐藤友里奈さん)

韓国語能力試験とスピーチコンテストで好成績

4月21日(日)に、韓国・国立国際教育院が主催し、韓国大使館と公益財団法人・韓国教育財団が主管する第63回韓国語能力試験が本学の1号館にて実施されました。本学からも韓国語を履修した1～3年生が主に中級(3級～6級)の試験に臨み、熱心に問題と取り組みました。

4月21日(日)に、韓国・国立国際教育院が主催し、韓国大使館と公益財団法人・韓国教育財団が主管する第63回韓国語能力試験が本学の1号館にて実施されました。本学からも韓国語を履修した1～3年生が主に中級(3級～6級)の試験に臨み、熱心に問題と取り組みました。

去る5月9日(木)、駐札幌大韓民国領事館において、同領事館が主催する「一緒に考えよう外国人観光客へのおもてなし」コンテストに、予選を突破した林田弥音さん(4年生)、船越楓さん(4年生)が出場。道東の観光と韓国人観光客へのおもてなし



「一緒に考えよう外国人観光客へのおもてなし」コンテストで優秀賞を受賞した林田弥音さん(写真左)と船越楓さん

サークル活動紹介

2019年度のサークルPR活動が、入学式翌々日の4月5日の新入生ガイダンス後に行われました。今年度は、様々な説明会などが重なり、新入生にとっては慌ただしいひとときになりましたが、1号館2階の自由学習コーナーと2号館1階の多目的ラウンジにおいて、サークルの代表者などから、活動内容や日程などの説明を受けました。

本学には、軟式野球、フットサル、陸上競技、バレーボール、テニス、バスケットボールの体育系サークルと、中国語、韓国語、英語の各語学サークル、教育、ツーリズムの各研究会、環境ボランティア、軽音サークル、そしてサークル連合などの運営団体2団体が活動を行なっています。

サークル活動などを通じて、色々な人たちと出会い、よりよい人間関係を築くことは、社会へ出る第一歩ともいえます。また、勉強だけでなく、何か一つ打ち込むことができるものを見つける手がかりになるかもしれません。こうした活動を通じて、成長していただきたいと願っております。(加藤)



4月5日に行われたサークル説明会の様子

平成31年度 サークル一覧	
文化 英語サークル	体育 テニスサークル
文化 環境ボランティアサークル	体育 軟式野球部
文化 韓国語サークル	体育 バスケットボールサークル
文化 教育研究会	体育 バレーボールサークル
文化 軽音サークル(HARZION)	体育 フットサル部(REGISTA)
文化 中国語サークル	体育 陸上競技部
文化 ツーリズム研究会	各種団体 サークル連合執行部
	各種団体 体育祭・大学祭実行委員会

O.B.・OG NOW!

注目される国際的リゾート地の町長となって



1985年北海学園北見大学商学部商学科卒業
● 倶知安町長
文字 一志さん
モンジカズシ

北海商科大学の前身である北海学園北見大学を卒業後、出身地である倶知安町役場に公務員として勤務しました。元々は図書館司書を目指していましたが、そのために夏期講習に通ったりもしたのですが、この仕事は欠員が出ないと募集が出ないなど就職が難しかったため、故郷である倶知安町の職員試験を受けました。最終的な決め手となったのは、倶知安に図書館がなかったことです。町の図書館づくりに最初から立ち会えると思い、公務員になることを決めました。ただ、最初に配属されたのは税務課でした。いくつかの課を経験するなかで、海外からの観光客が増えるなど町の状況も大きく変わりました。私自身もさらに企画振興課長、総合政策課長や福祉医療課長など町政全般に関わる経験を得ました。

倶知安町は南に羊蹄山、西にニセコ連峰を望み、清流日本一にも選ばれる尻別川が流れる四季の美しい町です。良質な雪を求めて、ウインタースポーツを目的に世界各地から観光客が訪れる、国際リゾートとして注目を集めるようになりました。それとともに、私も多くの時間を観光などの企画に注力するようになりました。そして、更なる町づくりへの思いから、2019年1月の町長選に出馬することになりました。無事、初当選。この先も新幹線の延伸や高速道路の開通などが控えています。こうした計画の初期段階から携わることができるのは貴重な経験だと思えます。

大学時代は、やりたいことを模索するのに適した学校の雰囲気や、良い時間を過ごしました。自由な校風でした。そのような経験からですが、ただ大学に通うのではなく、自分のやりたいことと真正面から向き合う時間として大学時代を過ごしてほしいです。毎日肩肘を張って過ごすのは疲れてしまいますが、何かが起こった時の判断というのは、毎日の積み重ねがないと難しいのかもしれない。ですから皆さんも、小さなことにもどれだけ関心を持って日々過ごせるかを意識しながら、時間を大切に、大学生活を送ってください。

そして学窓から社会へ。一人で達成できる仕事というのは限られています。いろいろな人と関わり、共同で作業をする場面がほとんどなので、与えられたことだけをやるのではなく、チームとして目的を持って取り組むことが大切になってきます。

今後は、シンプルに「心からありがとうと伝えられる町」にしていきたいです。「お互い様」という気持ちを日々持っていて、普段使いの言葉として浸透させたい。これが町長として立つと決めた時からの、私の基本的な価値観です。感謝の気持ちを、次の世代にしっかりとつないでいける町づくりをしていきたいですね。



倶知安町イメージキャラクター「じゃがちゃん」



新 任教職員 交換教員紹介



■新任職員 書記
波多野 悠馬
ハタノ ユウマ

2019年北海学園大学法学部2部政治学科卒業。4月より北海商科大学事務室配属。

担当が学生支援ということで、学生の皆様より良い学生生活に繋がるように仕事をしたいと思っています。また学生だけでなく教職員の方々のお役に少しでも役立てるよう精一杯努めていきますので、よろしくお願い致します。



■新任教員 准教授
舩田 佳弘
マスダ ヨシヒロ

「近代日本とアジア」や「東アジアの動き」などを担当しています。防衛大学校を卒業後、中国の四川大学で修士(経済学)、北海道大学で博士(経済学)を取得し、在重慶日本国総領事館、北海道国際経済室、与那国町役場、カナダのヴィクトリア大学などで、中国をはじめとしたアジア関連の研究業務に携わってきました。2015年からは大分県の大学で主に経済学関連の科目を担当していましたが、この度、懐かしい北海道に戻ってくることになり、不思議な縁を感じます。

移行経済論や進化経済学といった比較的新しい分野を専門としていますが、担当講義では歴史・理論・実践などできるだけ多様な視点から説明を行います。その中には一見正解が無いように感じる問題もあるかもしれませんが、多くは解決されていないだけで答えそのものが存在しないわけではありません。学生の皆さんには単なる知識だけでなく、様々な見方・考え方に接してしてもらい、一緒にこの世界の不思議に迫っていければと期待しています。



■新任教員 教授
山田 勅之
ヤマダ タダユキ

私は「観光振興論」、「旅行業実務」など観光関連の授業を担当し、中国少数民族地域の観光動態について研究しております。

大学時代は中国をはじめアジアを中心に旅行しました。さらに卒業後は旅行会社に就職して、企画、営業、事務、添乗など旅行業業務の一連の流れを経験することができました。しかしながら、高校時代から秘めていた研究職に就きたいという夢を捨てきれず、約10年勤めたその会社を辞めて、神戸大学大学院へ進学し、博士号(学術)を取得しました。

大学とは、専門知識を習得するだけではなく、「考え方を学ぶ」場だと思います。つまり、ある事象の本質を捉えるために、どのように考えれば良いのか、そのアプローチ法を学ぶ場だと思います。これはすぐに役立つスキルではないかもしれませんが、長い人生の中できっと皆さん自身を助けてくれる場面が出てくるでしょう。私も皆さんと一緒に学んでいきたいと考えています。



■交換教員 教授
崔 炳文
チェ ビョンムン

韓国の大田大学校から交換教員として来た崔炳文です。韓国語講義を補助しています。大田大学校では、教養学部であるH-LACでユークリッド幾何学、数学、言葉と論理などの課目を講義し、教養教育課程を総括する学部長としての役職を務めました。専攻は代数学と暗号学で、『暗号の世界』、『言葉と論理』、『暗号プログラミング』などの著書があります。

交換教員として、北海商科大学の教育システムに大きな関心を持ってきました。そしてこの大学で韓国語が人気を得ている背景も気になります。北海商科大学は「小さいが強い大学」で、優秀な学生を集中的に教育し、国際的な人材として育てているという印象を受けました。学校の運営と施設などは非常に体系的で清潔です。学生たちも大学に愛情を持って大事にしていると思います。講義時間も学生たちは活気に満ちていて、韓国語を学びつつ、暇がある時には私と会話をしようと思います。人生に対する態度も楽天的で積極的です。このような点はむしろ私が学ばなければならぬ点だと思います。

STAFF NOW!

一条 昌弘 ■入試・広報担当

イチジョウ マサヒロ
2007年北海学園大学工学部卒

- 趣味：サッカー、フットサル
- 学生へのメッセージ：「後悔のない大学4年間を」

学生時代は工学部自治会長を務め、充実した学生生活を送ることができましたが、“留学に行かなかったこと”は今でも後悔しています。私は2008年に職員採用となってから2016年10月までの8年間半、教務・国際交流を担当しました。その中でカナダ・レスブリッジ大学との交換留学を担当し、多くの友人が出来ました。そして、初めての受け入れ(2009年)から9年後の昨年8月、わずかに3週間ほどではありましたが、引率者としてレスブリッジ大学に滞在し、旧知の友人たちと再会することができました。また、本学国際交流事業のおかげもあり、中国や韓国にも親友と呼べる友人がいます。

彼らとの交流を通して学んだことはたくさんありますが、特に『外から見た日本』という視点、感覚を感じ得たことは私の人生にとって大きな財産です。しかしながら、“自由な時間が豊富にある学生時代にこういった経験をもっとしておけば良かった”という気持ちは未だに拭きません。だからこそ学生の皆さんには今のうちにしかできない経験を積み、後悔なく本学から巣立って行ってほしいと思います。



写真上：レスブリッジ大学担当者Diane宅でのホームパーティー・真中が筆者 下：親友Aaron(右)とその友人夫婦PatrickとKeiko宅でBBQ

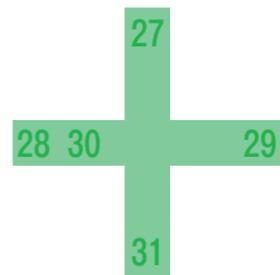
●新刊紹介●

『現代中国を知るための52章』【第6版】
藤野彰 編著 佐藤千歳(本学教員) 他共著
2018年11月/明石書店



『中国雲南の書承文化』
記録・保存・継承
山田敦士 編著 山田勅之(本学教員)
他共著
2019年2月/勉誠出版

『税法・税務会計の要点』
一租税論を踏まえた現代税現象の解明—
演沖典之 編著 中西良之(本学教員)他共著
2019年4月/五紘舎



医務室から

『二十代の健康』⑬

医務室 西川 葉子



4月から医務室に勤務しています西川葉子です。これまで働く人達の健康管理に携わってきましたが、医務室勤務は初めてです。日々緊張しながらも、勉強中でありです。趣味は食べ歩きと旅行。最近では味噌や甘酒作りにはまっています。またヨガを始めて10年以上になりますが…家でやることはまずありません(笑)。学生の皆さんや教職員の方々の身近な存在になれたらと思いますので、ケガや体調不良以外にも「気になる症状があるけど、どこの病院に行ったらいいの?」「ダイエットしたいけど……」など、ちょっとした相談でも大丈夫ですので気軽に医務室に来てください。

さて6月になりましたが、大学生活楽しんでますか?そろそろ進学などで環境が変わり緊張や疲れが出始める時期でもあります。なんとなく体調が悪い、授業に集中できないなど…その原因は環境の変化に対応しようと、自分では気が付かないうちにストレスを抱え込んでしまうためです。運動や趣味など自分の好きなことをして上手にストレスを発散することもひとつですが、やはり生活のリズムを整えることが大切です。不規則な生活は、人間が本来持っている体内リズムを乱すため、体の健康のみならず、心の健康も害しやすくなります。また、PCやスマホ、テレビなどのブルーライトの刺激によっても体内リズムが崩れることがあります。就寝ざりぎりまでのゲーム、スマホの使用はできるだけ避けられるとよいですね。

行事予定

6/20(木)	カナダ・レスブリッジ大学交換学生修了式	9/20(金)	高校生懸賞作文募集締切日
6/23(日)	第1回オープンキャンパス	9/21(土)	北海商科祭
6/26(水)	第2回所属学科選考ガイダンス(2年次)	9/24(火)	全学年履修登録訂正日①(終日)
6/26(水)~7/3(水)	2年次「志望学科届」回答期間	9/25(水)	全学年履修登録訂正日②(午前)
7/17(水)	振替講義日(月曜日)	9/26(木)	後期講義開始
8/7(水)	前期講義終了	9/29(日)	第3回オープンキャンパス
8/8(木)	夏季休業開始	10/16(水)	振替講義日(月曜日)
8/8(木)・9(金)	前期成績開示、成績・採点異議申し立て受付	10/24(水)	振替講義日(火曜日)
8/9(金)・10(土)	第2回オープンキャンパス	11/8(水)	振替講義日(月曜日)
8/13(火)~16(金)	全学休業日	11/16(土)	後期修学指導面談①
9/2(日)	保護者通信発送(成績通知)	11/24(日)	推薦入学試験(指定校・公募Ⅰ期)
9/7(土)	前期修学指導面談②(成績不振者・卒業者)	12/20(金)	推薦入学試験(公募Ⅱ期)
9/12(木)	夏季休業終了、2年次所属学科発表	12/27(木)	冬季休業開始
9/13(金)	ガイダンス(3年次午前、2年次午後)	2020/1/8(水)	冬季休業終了
9/14(土)	1年次ガイダンス(午前)	1/9(木)	講義再開
9/17(火)	4年次ガイダンス(午前)、1年次履修登録(午後)	1/17(木)	卒業論文提出期限
9/18(水)	履修登録(2年次午前、3年次午後)	1/18(土)・19(日)	大学入試センター試験
9/19(木)	4年次履修登録(午前)	1/30(水)	振替講義日(水曜日)